



山川中学校だより

自律 親和 創造

第6号

令和7年10月3日(金)

文責：谷 陽子

○山中祭、体育祭を終えて

「暑い、暑い」と感じていた夏もようやく過ぎ去り、季節は確実に秋へと移り変わってきました。例年以上の暑さが続いた9月でしたが、多くの方々のご協力のおかげで、山中祭（文化祭）と体育祭を無事に終えることができました。

行事を通して、生徒たちはそれぞれの個性を存分に発揮し、学級・学年・部活動などの仲間と力を合わせながら、大きく成長しました。一人ひとりに秘められた可能性が輝き出し、本校の校訓【自律・親和・創造】を体現する姿を数多く見ることができました。まさに、山川の未来を担う子どもたちの頼もしさを感じるひとときでした。

準備から当日まで、生徒たちは楽しい中にも一人で何役もこなし、忙しく過ごしましたが、その表情は生き生きとしていました。卒業まで残り半年となった3年生にとっては、中学校生活での「最後の」山中祭・体育祭となりました。仲間と協力して一つのものをつくり上げた経験は、これからの生活で大切な財産になるはずです。

そして、学級で力を合わせて取り組む最後の大きな行事が、11月の合唱フェスティバルです。現在は練習が始まったばかりで、声が十分にでない様子も見られ、音楽科の先生から励ましの言葉がかけられています。合唱フェスティバルは、ただ歌うだけの行事ではなく、仲間と気持ちをそろえ、支え合い、協力して一つのハーモニーを創り上げることに大きな意義があります。練習の過程で互いに励まし合い、工夫を重ねる時間そのものが、卒業後も心に残る思い出になるでしょう。ぜひ、一人ひとりが自分の役割を果たし、心を合わせた歌声を響かせてほしいと思います。

○秋といえば……

先日の全校集会では、「読書の秋」にちなんで読書の大切さについて話をしました。スマートフォンなどで動画を見る時間はあっても、本を読む時間がなかなかとれない人が増えています。しかし、読書には「想像力が豊かになる」「語彙が増える」「知識が身につく」など、数多くのよい面があります。まずは短時間からでもよいので、本を手にとってみてはどうでしょうか。

学校では毎年新しい本を購入し、生徒が手に取りやすいよう工夫して配置しています。図書委員や教員に声をかければ、随時貸し出しも可能です。朝の自習後や、帰宅後のちょっとした時間に読書を取り入れ、心を豊かに育んでほしいと願っています。

ご家庭でもぜひ、デジタル機器から少し離れて読書の時間をつくり、「読書の秋」を楽しんでいただければ幸いです。

学校の様子を紹介します。

9月6日（土） 山中祭（文化祭）

台風の影響が心配されましたが、今年のテーマ「山中祭をまちわびた 主役は誰だ!? 僕らの番だ!!」のもと、無事に開催することができました。



生徒たちは夏休み前から準備を重ね、ステージ発表や展示を通して日頃の学びや個性を存分に披露しました。当日は多くの保護者の皆さまにもご参観いただき、生徒の成長を共有していただく機会となりました。

9月上旬～ 部活動（新人戦、コンクールに向けて）



9月から、競技ごとに徳島県中学校新人大会や北部Bブロック新人大会が始まりました。3年生からバトンを受け継いだ新キャプテンを中心に、日々の練習の成果を試合で発揮し、チーム一丸となって挑んでいます。

文化部も新たな作品づくりや発表に取り組み、音楽部も活動の幅を広げています。今後の活躍にどうぞご期待ください。

9月19日（金） キャリア教育講演会（2年生）

（株）ハウトクの芳賀咲子さんを講師にお迎えし、「職場体験学習を3倍いいものにするための考え方とマナー」についてご講演いただきました。生徒たちは真剣に耳を傾け、不安を感じていた生徒からも「期待をもって積極的に挑戦できそうだ」といった前向きな感想が聞かれました。



9月25日（木） 体育祭



天候が心配される中でしたが、無事に体育祭を実施することができました。どの学年も趣向を凝らした種目に全力で取り組み、笑顔あふれる一日となりました。行事を通して、クラスの団結力もさらに高まったようです。

9月29日（月） 人権講演会



長年、人権啓発活動に取り組んでこられた江口久さん、江口徹子さんを講師にお迎えし、講演会を実施しました。50年以上にわたり人権の尊さを説いてこられた江口さんご夫妻の力強い生き様に、私たちは感銘を受けました。今回の講演で学んだことを生かし、自分も他の人も大切にされる社会の実現に向けて、私たち一人ひとりが行動していくことの重要性を再認識しました。